



広島県室内装飾事業協同組合

〒733-0003

広島市西区三篠町1丁目7番4号

TEL 082-239-9281 FAX 082-239-9282

URL <http://hirosokyo.jp>

発行責任者 広報委員会委員長

小林 修

令和元年度技能検定およびトライアル

今年度の技能検定は壁装、プラスチック系床仕上げ、木質系床仕上げ、化粧フィルム工事の計4職種について実技・学科試験が7月～9月に掛けて実施された。組合では1級18名、2級3名計21名が受検し、1級9名、2級1名計10名が合格した。また1科目のみ合格者は5名であった。職種によっては芳しくない結果もあったが、教育情報委員会の方で、よく内容を分析して次回に繋げたいと考える。

今回壁装、プラ床、化粧フィルムの3職種実技検定については、計20名の受検者が同一スペースで、同時スタートで行われ、単一職種での検定とは違った緊張感や刺激があり良い意味での競い合いが見られた。また主催者職能協会を初め各団体から選出されている検定員や補佐も、3職種重複する事で十分な協力態勢がとれた。さらに今回は初めて空調の効いた会場で開催され、作業効率も捗ったと思われる。毎年実技検定は盛夏の時期に行われるので、ここ数年の猛暑で空調が無い場合、受検者の熱中症も懸念される状態だったので、諸条件が整えば今後も空調付会場が望まれる。

組合では検定に先立ち6月～7月に各職種別で実技、学科トライアルも実施した。検定実技では、例えば壁装の袋張り等の様に、普段の作業では殆どする事がない手順も有ったり、熟練者でも検定むけの練習を十分に行う事が必要になってくる。トライアルでは講師から作業はもちろん作業前の裁断など段取りについてもポイントを毎回説明し

て頂いている。技能検定については、色々な意見や考え方があるが、技能者の力量を証明する大きな指標として、今後さらに受検者が増える事を組合としても期待し、また支援して行きたいと考える。

※技能検定に関する来年度の大まかなスケジュール

- 組合から技能検定受検及びトライアル受講希望の確認 3月
- 職能開発協会へ検定受検申請 4月
- 技能検定実技・学科トライアル実施
6月～8月
- 技能検定実技試験・学科試験 7月～9月
- 合格発表 10月

組合員の検定受検者数と合格者数

職 種	受検者数	合格者数
壁 装 1 級	7	4
壁 装 2 級	2	1
プラスチック系床 1 級	5	3
プラスチック系床 2 級	1	0
木 質 系 床 1 級	3	2
化 粧 フ ィ ル ム 1 級	3	0
合 計	21	10

※実技、学科両方の合格者数

技能検定実技（壁装、プラ床、化粧フィルム）



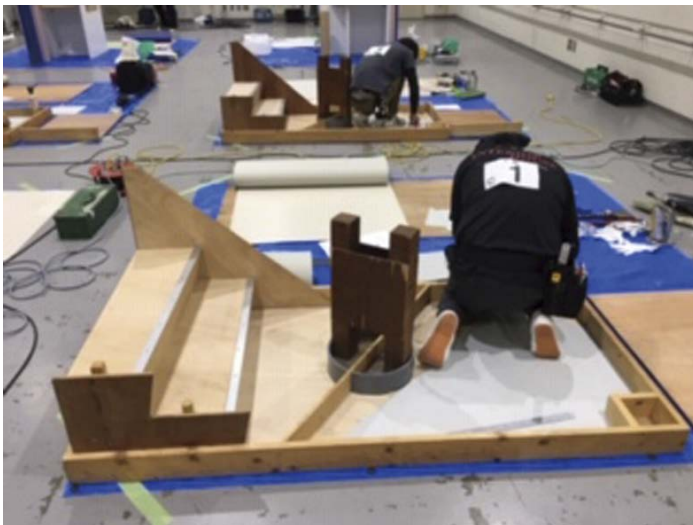
<壁 装>



<プラ床>



<化粧フィルム>



於：広島県産業会館西展示館

技能検定トライアル

<壁 装>

於：ポリテクセンター広島



<プラ床>



「袋張り」も「のりの希釈」も難しい



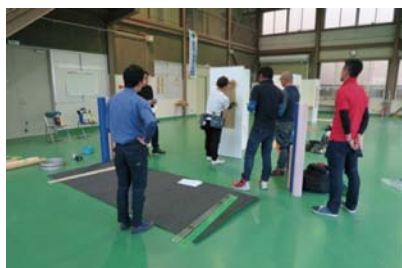
<木 質 床>



<学科トライアル>



<化粧フィルム>



令和元年度 技能検定合格者

番号	職種	級	氏 名	事業所（紹介者）
1	プラ床	1	佐々木 秀 文	青山装飾㈱
2	プラ床	1	高 田 康 成	インテリアハウス（㈱装匠）
3	プラ床	1	森 河 貴 志	インテリアクリップ（㈱池田ハルク）
4	木質床	1	早 田 匡 寿	(有)西村工業
5	木質床	1	山 村 雄一郎	(有)山村建設（(有)ウッドライン）
6	壁 装	1	宮 崎 保 浩	竹内装飾㈱
7	壁 装	1	松 本 伸	青山装飾㈱
8	壁 装	1	桑 本 大 輔	青山装飾㈱
9	壁 装	1	上 田 優	青山装飾㈱
10	壁 装	2	長 岡 大 貴	竹内装飾㈱

※実技・学科両方合格者を記載

令和元年度中国ブロック会議開催

9月6日（金）に今年度の中国ブロック会議を島根県松江市の松江エクセルホテル東急にて開催した。日装連から小坂田理事長にお越しいたき、中国5県組合三役、事務局を中心に計27名の参加となった。小坂田理事長からは冒頭の挨拶で日装連事務局の新しい態勢と（一社）建設技能人材機構の活動について説明を頂いた。

会議ではまず審議事項として「平成30年度収支決算報告・監査報告」「令和元年度収支予算案報告」の2件共に承認された。日装連報告事項では、中国ブロック選任の3委員から日装連委員会活動

の報告がなされた。また事前に提出し回答を得た「日装連への質問・要望事項」については、小坂田理事長より説明を頂いた。休憩を挟んで協議事項に移り、「事業継承、人手不足」について各県組合での取り組みを発表しあった。広島組合は15年前の青年部会立上げから、事業継承の講習会開催、最近では工業高校への体験授業やものづくりフェスタでの小中高生、一般への業界紹介を通じて息の長い人材確保への取組を発表した。会議に引き続き実施した懇親会も大いに盛り上がりみせてブロック会は無事終了した。



春夏秋冬

安全が一番重要

理事 南 利 信

広島県室内装飾事業協同組合において、労働災害状況の統計を取ったことがないと思いますが、近年のゼネコン各社の安全の実績を見ていますと、重大事故の減少はあるものの、全体的にはまだまだの様です。元請及び作業員の安全に対する意識の向上はあるものの、近年、ヒューマンエラー（些細な人的ミス）による災害が多発しております。労働災害の原因のほとんどはヒューマンエラーだと言われています。不注意、危険軽視、パニック、無知、未経験、不慣れなどヒューマンエラーの諸要因であります。例えば、私たちの現場によくありがちな危険軽視の例ですが、高さ2mくらいの高所作業では、これくらいの高さなら大丈夫とつい作業を行ったりします。2m以上は安全帯を使用するというルールを知っていても、つい行って墜落災害につながることもあります。また車の事故でもエンジンを切るのを忘れた、サイドブレーキをすのを忘れた、ついうっかりと自然な行動が事故につながっています。私たちの現場においても、クロス張り作業においては、サンダー掛け

には保護メガネ、マスク着用など作業内容によって適正な保護具を着用しなければなりません。まあいいかという考えでは労働災害はなりません。

又有資格者の適正配置による災害の軽減、有機溶剤作業主任者・足場組立・高所作業車等など有資格者の適正配置による、未経験、不慣れなどによる危険を軽減することが出来ると思います。健康管理も安全に最重要です。健康でなければいい仕事はできません。若い時には情熱も体力もあり少々の無理をしても耐える力もありましたが、私も理事の中で池田ハルク小林社長の次に長老になりました。私も含めて、建設業に携わっている方々の高齢化が進んでおります。私病（会社の業務とは関係のない原因で発病した病気・高血圧症など）と、仲良く付き合い日ごろから十分な健康管理をしながら今できることを確実にしていきましょう。

最後に本年度広島県室内装飾事業協同組合の会員の皆様又従業員の皆様賛助会員の皆様方の無事故・無災害をお祈りします。

防火壁装・防災講習会を開催

8月7日に広島RCC文化センターに於いて、主に新規加入組合員を対象とした「防火壁装・防災業務講習会」を開催した。講師は昨年に引き続き「防火壁装」を岡田展政副理事長、「防災業務」を事務局が担った。今年度は日装連新聞紙上でも「今さら聞けない防火壁装ラベルの話」と「防災品で暮らしに安心を」が連載され、それぞれの重要性が再認識されているが、当講習会でも10名の受講者はラベルを貼る必要性や意義を十分理解いただけた。

※来年2020年は3年毎の更新講習の時期となります。7月に講習会開催予定ですので組合員

の皆様はご周知ください。（ご案内は5月頃になります）



賛助会員ご紹介

今号より日頃組合員へ支援・協力を頂いています。賛助会員（メーカー）の広島県下担当事業所を順次ご紹介させていただきます。

(株)サンゲツ

平素は格別のご支援、ご愛顧を賜り誠にありがとうございます。この度「賛助会員の紹介」として、第1回となる掲載の栄誉をあずかり誠にありがとうございます。

さて、弊社は今から約43年前の昭和51年6月に広島市で中国方面への営業活動を開始しました。その後平成3年10月に当時は最先端となる自動倉庫及び物流施設の機能を持った岡山店を開設し、「デリバリーも品質のうち」をモットーに、ジャスト・イン・タイムでおよそ13,000点の商品を即納するデリバリー体制を構築してまいりました。そして、本年令和元年7月に待望の中国四国地方での最大マーケットを誇る広島市の鉄砲町へ支社・ショールームを移転、新たなスタートを切り事業拡大と持続的な成長を目指した施策を実行しております。

今回の移転にあたって最も考えたのは『社員が働きやすいオフィス環境の実現を第一』、次に『災害・防犯上の観点から安全性を考えた立地及び建物』と『営業活動の効率化と市場予想・動向』として考えました。昨今はダイバーシティ(多様性)と称して、多様な価値観を受け入れる風潮にあり

中国四国支社支社長 飯田 芳浩

ますが、これは大変に素晴らしいことでもあり、社会が進化・発展していく様を



日々実感しております。ビジネスの原点は「人」であり、弊社は社員、お客様をはじめ「人」を第一に考えていくことに変わりはありません。また、弊社の企業理念であるサンゲツ三則『創造的デザイン』『信頼される品質』『適正な市場価格』も不変のものであります。

市場・業界を取り巻く環境は厳しくなることが予想されますが、そのような状況下においても、衣・食・住が豊かな人の営みには不可欠であり、その一翼を担う者としてこれからも『デザインするよろこび』を皆さまにお届けし、豊かな社会の暮らしづくりに貢献してまいります。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

納涼懇親会と野球観戦

理事 金 行 義 也

組合では今年の親睦行事として従来のボーリング大会を一旦休んで、西部地区は7月30日(火)にANAクラウンプラザホテル広島のトップビアガーデンにて納涼ビアガーデン、東部は8月1日(木)に又来軒(ゆうらいけん)福山ニューキャッスル店にて納涼懇親会を其々開催し、気軽に組合員が交流を深められる様に試みました。西部地区60名、東部地区20名の組合員、賛助会員に参加を頂き美味しいビールと食事に舌鼓を打って頂きました。今回は東西で2名10組計20枚のCarp観戦チケットを初め、Carpユニフォーム等たくさんのCarpグッズが当たるビンゴゲームを実施しました。ゲームが始まるとかなりの盛り上がりで、皆さんが前のめりになり司会進行の声が届かないくらいでした。またビンゴの当選が早いから観戦チケットをゲットということではなく、ランダムに景品を定めたのも、ハラハラドキドキして良かったと思います。

また恒例になった野球観戦について、9月7日(土)Carp対Tigersのデーゲーム観戦チケット2名40組80枚を一部組合負担で頒布したところ1.5倍の申込みを頂き、厳正な抽選を行い当選者を決めました。試合のほうは久し振りに藪田投手が登板し、期待して観戦しましたが集中打を浴びて残念ながら敗戦となりました。しかしそれでも球場内はすごい歓声で、観戦チケットの入手が年々困難になる中でこれだけのチケットを確保できたことを嬉しく思いますし、それに携わるすべての人に感謝します。

組合総務委員会では、こちらからも総会、新年互例会の公式行事は元より、色々な形で親睦行事を検討していきたいと思えます。



青年部会

青年部会研修旅行報告

(株)中山装飾 渡辺和也

8月23日～25日の3日間で沖縄へ青年部会の研修旅行に総勢14名で行ってきました。

8月23日朝、広島空港2階ANAロビー前にて集合をして、初めての沖縄行きに心躍らせながら出発。那覇空港に到着すると、広島にはない強烈な日差しです。沖縄に残暑があるのか分かりませんが、私個人的には蒸し暑さを感じました。

最初の訪問先はシンコー沖縄(株)様です。女性の方にショールームの案内をして頂いたのですが、その方が広島出身の方で、我々広島の間と久々に会話をすると、大変喜ばれているのを今も思い出します。お話を依ると広島(本土)と違うのが、沖縄に在庫をしている商品(品番)としていない商品があり、ない商品を選ばれると入荷するのに最低でも4日～7日ほど納期がかかるとの事でした。そのため、カタログには在庫をしてある商品については、赤ペンで○をしているそうです。



於：シンコー沖縄(株)

納期に余裕のないお客様には、出来るだけ赤○の商品をお薦めしてご迷惑が掛からないように、日々苦勞されている様です。

続いて向かったのが、(株)サンゲツ沖縄様です。代表取締役の田中社長がショールームの案内をしてくださりお話をお聞きしました。ショールームの中は、広島のサンゲツショールームに近い内装でした。沖縄らしさを感じたのは、社長始め社員の方々がアロハシャツ着用だった事です。後で調べたのですが、沖縄ではアロハシャツをかりゆしウェアと言うみたいで、正装として用いられ、結婚式でも着られるみたいです。また印象深かったお話は、シンコー沖縄(株)様と同様に、在庫している商品もあるとの事でしたが、台風などの天候で船が欠航になると、食料などの市民生活での必需

品が優先され、建築資材は後回しにされるとの事でした。酷い時は、2週間納品できない事もあったそうです。



於：(株)サンゲツ沖縄

うです。平素物流環境の恵まれている私たちから見れば、血の気が引く思いでした。

その後、一度ホテルにチェックインをし、夕食は久々のステーキを頂き、大変美味しかったです。

2日目は、グループに分かれて自由に行動とし、夕食は全員集合して水平線が見える海岸でのバーベキューでした。台風が接近中で強風の中の食事だったので、皆さんお皿を飛ばされないよう必死でした。3日目の最終日では、全員で観光をし、首里城とおきなわワールドの玉泉洞という鍾乳洞を歩きました。首里城は、瓦も建物も朱色をしており、どことなく中国の建物に近いイメージがあり、屋根のシャチホコが龍になっているのも異国の土地を感じました。鍾乳洞は890mもの長さがあり30分ほどかけ歩き少々疲れました。あっという間の3日間でしたが、無事広島への帰路につきました。最後になりましたが、旅行に参加された皆さんお疲れ様でした！参加されなかった方もまたの機会にご一緒出来るのを楽しみにしています！



於：玉泉洞

ボランティア活動報告

アスワン(株) 石坂 智宏

青年部会の恒例事となっております、ボランティア事業も今年度で10回目となりました。今回訪れた記念すべき10校目の学校は広島県立呉特別支援学校です。生徒不在の夏休み中の作業を希望されていた為、去る8月27日(火)に実施されました。多忙な日々の業務のなか、13名もの大変多くの部会員が参加してくれました。

今回の作業内容は、何度も学校側と打合せを重ねた結果、技術室のカーテン・カーテンレールの



取付、教室各所のクロスの貼替に決定しました。技術室にカーテンを取り付けることによって西日が強く困っておられたことが解消され、大変喜んでいただきました。作業においてもボリュームのある内容でしたが、部会員のみんなの段取りと手際

が非常によくあつという間に完了しました。作業後、校長室で校長先生と話す場が設けられました。違う会社の人たちが集まって、青年部会を通して一緒に一つのことを協力し合っている事は素敵なことですねと言われていました。青年部会として今後も社会貢献と業界の発展を目指し仲間達と活動を活発に取り組んでいきましょう。



於：広島県立呉特別支援学校

新会員の紹介

(令和元年7月～9月加入)

★正組合員

- ・(株)マツモト 代表者 松本 裕太
尾道市因島中庄町3301-11
- ・(有)アン・シャーリー 代表 森井 浩美
広島県安芸郡府中町八幡2-19-10
- ・(株)マツオカ 代表 中西 由和
三次市十日市東4-8-15

これからの主な行事・催事(*印) 予定

- *ひろしまものづくりフェスタ
青年部会出展 10月29日(火)～30日(水)
於：広島県産業会館
- *JAPAN TEX 11月13日(水)～15日(金)
於：東京ビックサイト
- ・全国青年部・次世代部長会議 11月13日(水)
於：東京ビックサイト
- ・組合研修旅行(伊勢) 11月20日(水)～21日(木)
- ・有機溶剤作業主任技能講習
11月16日(土)～17日(日)
於：広島市林業ビル
- ・組合新年互礼会 2020年1月10日(金)
於：ANAクラウンプラザホテル広島
- ・日装連ID研修及び新春セミナー 同上

編集後記

広報委員会委員長 小林 修

猛暑の夏が過ぎ、朝晩めっきり涼しくなった今日この頃ですが、10月1日より、増税となり3%から始まった消費税も10%となりました。我々の生活に負担がのしかかるのは事実であり、消費が大きく落ち込まないことを祈るばかりです。

現在のキーワードに、「働き方改革」がクローズアップされていますが、国も働き方改革を推進しており、それぞれの企業が、人手不足、生産性向上と業務効率化、魅力ある職場づくりと社員育成等課題を解決する必要があります。

広報委員会の活動の中にも、人材確保推進がありますので、組合員の皆様の知恵を借りながら魅力ある業界にすべく活動して行きたいと思っています。